

「奥多摩都民の森」事業計画書 概要版

I 事業方針 1 管理運営に対する基本方針について

(1) 管理運営に関する基本的考え方と重視する視点

① 地元自治体の施策との連携

奥多摩都民の森の管理運営は奥多摩町がこれまで30年に渡り継続して受託してまいりました。

奥多摩町は自然と共生する町として、住む人と訪れる人が癒される町づくりを進めており、本受託事業を通じて豊富な経験と専門的な技術力を活かした森づくり体験や山里体験を通じて、広く都民の皆様自然に触れ、自然に親しみ、理解を深めていただく場として様々な体験活動を提供していきます。

② 地域の資源および人材を活用した体験サービスの提供

奥多摩町は、これまでの都民の森の管理運営を通じて地域の状況に熟知しており、適切な体験プログラムを企画実施してきました。今後もこれまでのノウハウを活かし、それぞれの専門分野に精通した地元を中心とする指導者により、地域の振興も図りながら地域の資源と人材を活用した体験活動を実施していきます。

③ 自然災害や事故などへの対応及びその対応に不可欠な地元関係機関との連携

普段から道路状況等の確認をするとともに、町の関係部署との連携により、危険箇所等の情報提供を行うなど安全管理に努めます。自然災害や事故発生の場合には、利用者の安全を第一に、消防署及び警察、地元消防団、自治会との連携を図り、迅速な対応を図ります。

(2) 申請者のノウハウを活用した業務展開

① 前指定管理期間の総括

登山者の道迷いを防止する案内板の設置や園内のパトロールの強化、危険箇所を示すハザードマップの直接配布のほか、より多くの方々への情報提供としてインターネットを通じた情報発信も併せて行ってきました。

また、「森に触れ」「森に学び(歩く)」「森を育てる」をテーマとしてイベントを企画実施し、災害に備えて定員に対して約3日分の備蓄食料の完備についても整えました。

② 前指定管理期間の実績を活かせる事項

30年間の豊富な経験と専門的な技術力をもって都民の森の3つのテーマに沿って体験活動を行い、森林保全の大切さ、広く自然環境の保護と育成に関する啓発事業を展開していきます。

施設立ち寄り者への積極的な案内を行い、イベントの参加及び平日の利用促進を図ります。施設の特徴を生かしたイベントとして、「山のふるさと村」「檜原都民の森」との三施設合同イベントを継続して行います。

③ 前指定管理期間の反省点とその改善に向けた取組

開設から30年を迎え、新たに主催イベントに参加される方への変化が見られ、従来の施設利用者とは異なる新たなニーズの取り込みに向けインターネット・SNSを通じた情報発信の更なる強化について検討、改善を図ります。

また、一般宿泊者に対する食事の提供方法を検討、改善を図ります。この後、体験の森の整備及び、園路・園地の整備を進めます。

II 事業計画 1 人員配置計画

(1) 人員配置計画

- ① 奥多摩町協力・連動した人員配置
- ② 適材適所に配慮した臨時スタッフの配置
- ③ 計画に基づく作業員、警備員の配置

(2) 適切な管理を行うための人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

- ① 偏りなく公平な視点で協調性と多くのスキルを持った人材
- ② 森林管理に必要な専門知識技術力を持った人材
- ③ 豊富な経験をもとに新たな視点で計画の作成ができる柔軟な人材
- ④ 地元の風土と文化に詳しく指導経験豊富な人材
- ⑤ 施設を快適に利用いただくための職員の研修の充実
- ⑥ 新たな技術の習得を含む職員の技能向上
- ⑦ ファーストエイド及びAEDの技術習得

2 運営計画

(1) 奥多摩都民の森の役割と事業展開

御前山活動エリアを中心に培った実績をもとに林業体験、山歩き、自然観察等の各種イベントを通じて、森の大切さや森の役割などを学んでいただく場の提供を行っていきます。これら専門技術を要する各種体験活動メニューには、それぞれに精通した地元を中心とするインストラクターに指導していただきます。

(2) 閑散期対策への取組

アイゼンを用いた低山における雪山歩きを実施するほか、降雪を含む天候の不安定な際に提供する室内を中心とする体験活動の充実を図ります。また、冬休み等を活用した学生の利用について広くPRしていきます。

(3) 質の高いサービス提供への取組

各種イベントで使用するアウトドア用品の充実を図り、初心者の方へのアウトドア活動の支援を行います。また、イベントの充実はもとより、星空観察等の専門性の高いイベントを提案していきます。

(4) ニーズ把握及び満足度の調査

アンケート調査は、イベント内容の評価や計画の作成のほか、施設の不具合等に速やかに対応するために重要な役割を有しており、今後も継続して行っていきます。

(5) 環境教育等業務

児童生徒に対する環境教育に加え、御前山の動植物の動向、獣害等による環境被害、水系の環境の変化などのテーマについて提案していきます。

(6) 施設の広報に関する取組

紙面を通じた広報からインターネット及びSNSを中心とする広報へとシフトすることにより、経費を抑えた素早い情報発信を行います。

(7) 地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組

森林整備や中山間地農業、ワサビ栽培等、奥多摩町ならではの地域を活かしたイベントを計画実施します。また、奥多摩町内の観光施設などと積極的に連携の強化を図っていきます。

(8) 業務効率化への取組

職員については必要最小限の人員をもって、現場における安全業務に携わる人員の充実を図り、事故の軽減と未然回避に努めます。また、適切な事業が履行できるよう、適正な機能維持と管理水準の向上に努めていきます。

(9) その他の取組

これまで同様の在日外国人の受け入れに加え、新たなインバウンドの受け入れを推進していきます。また、アンケートのインターネット上での回答について検討し、業務の効率化と利用者の負担の軽減を図ります。

3 管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

- ①安全管理マニュアルによる日常の安全管理
- ②ハザードマップの活用による安全管理
- ③管理業務計画書による維持管理状況の確認
- ④管理作業の安全確保の充実
- ⑤管理作業区域内におけるお客様の事故防止

(2) 事故の防止や発生時への対応、自然災害等への緊急時対応

- ①事故を防止するための実踏による安全確認及び突発的事故に備えたバックアップ体制
- ②事故発生時の被害者の応急救護と消防、警察への速やかな連絡
- ③自然災害に対する非常配備態勢の強化
- ④地元消防、警察との連携の強化
- ⑤奥多摩町災害対策本部との連携
- ⑥備蓄食料の確保

(3) 宿泊者の安全性、快適性の向上に向けた取組

- ①気象情報に応じた速やかな安全体制や誘導体制が整うよう、公共交通機関などの運行情報の収集を図る
- ②日常管理において共同利用箇所の清掃の徹底
- ③施設の衛生管理と施設の美化を図る
- ④軽微な補修については、随時対応し、少ない経費で効果を上げる